

# 国立大学における男女共同参画推進の実施に関する 第8回追跡調査について

一般社団法人 国立大学協会  
教育・研究委員会  
男女共同参画小委員会



国立大学協会では、大学における女性の雇用および教育関連の実情把握のための調査資料の整備、共通のデータベースの構築、各大学への情報提供を目的として、『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査』を実施しており、2001年以降これまで8回の調査を実施しました。

また、2011年2月には『国立大学における男女共同参画推進について - アクションプラン - 』（以下アクションプラン）を策定し、男女共同参画推進のため大学が取り組むべき事項について提言しました。

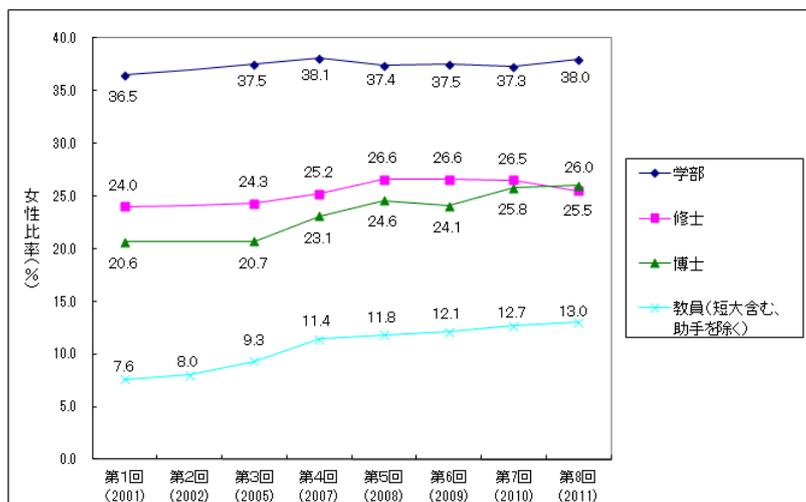
（アクションプラン本文は <http://www.janu.jp/active/txt5/danjyo110210.pdf> 参照）

## 第8回追跡調査（2011年7月実施）の概要

### 男女共同参画の現状（統計調査）

#### 学生・教員における女性比率推移

女性教員の比率は13.0%と、前回調査から0.3%増であり、全体としても増加傾向にあるといえます。ただし、近年は微増（一部微減）が続いており、さらなる取り組みが求められます。



#### < 第8回追跡調査集計値 >

- ・ 女子学生
  - 学部卒業生 38.0%
  - 修士課程修了者 25.5%
  - 博士課程修了者 26.0%
- ・ 女性教員（助手を除く） 13.0%

第2回調査では学生について調査を行っていない  
第4回調査からは学校教育法の改正により従来の  
助手が「助手」及び「助教」に分けられ、助教が  
データに含まれるようになった

#### 大学の意思決定機関等における女性比率

学生・教員における女性比率よりも、全体的に低い値となっており、アクションプランにおいても大学が取り組むべき事項として、『大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大』を提言しています。

常勤	
学長	3.5%
理事	1.8%
副学長	4.2%
学長補佐等	9.9%
経営協議会、教育研究評議会委員	3.7%
部局長等	3.3%
監事	0%

非常勤	
非常勤理事	6.4%
大学運営に参画する外部委員等	10.2%
非常勤監事	4.2%

男女共同参画の推進は大学運営における目標・課題の一つとして認識されており、各大学で様々な新たな取組が行われています。

(新たな取組事例)

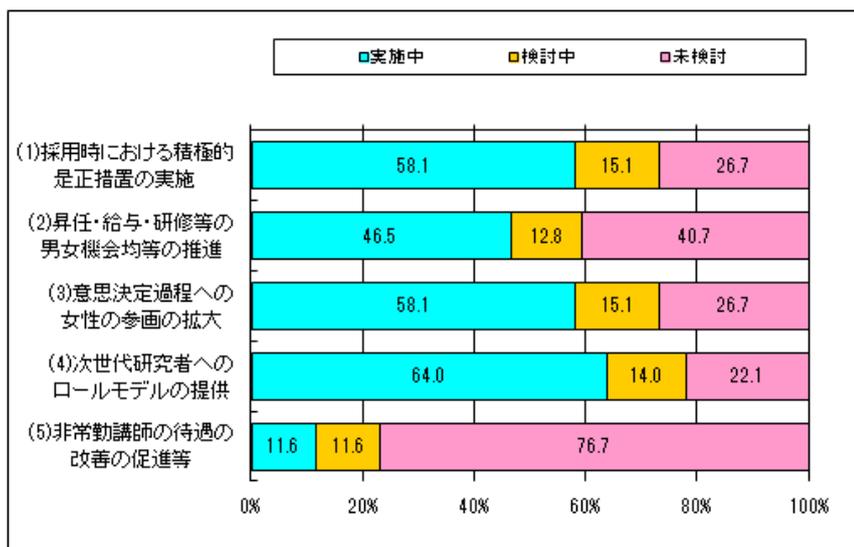
- ・大学の男女共同参画の推進に関する基本方針を周知するため、ポスター作成・配布及び教職員向けセミナー・学生向けセミナーの開催
- ・子育て支援メンター制度を発足
- ・大学独自の取組として両立支援活動を実施
- ・女性PI(Principal Investigator)の採用、女性研究者へのスキルアップ等の取組を開始

男女共同参画推進に関する取組状況について

アクションプランにおける提言事項への取組状況について、今後予定されているフォローアップに先立って現状を把握するため調査を行いました。

女性教員・研究者の拡大

約6割の大学が、採用時において何らかの積極的是正措置(ポジティブ・アクション)を行っていますが、採用後において、さらなる待遇の改善が今後の課題となっています。



【実施中の取組事例】

- (1) 女性教員を採用した部局等に対する人件費等のインセンティブの付与
- (2) 育児休業からの復帰時に昇給に影響が生じないように調整
- (3) 政策・方針決定過程への女性教職員参画割合について数値目標を設定
- (4) 女性研究者と女子学生の交流会の実施
- (5) 非常勤講師が専任になる機会の拡大を支援

第8回追跡調査の概要については、基本的に報告書より抜粋しています。  
 報告書の全文は、当協会ウェブサイトよりダウンロード可能です。  
<http://www.janu.jp/active/6kankoubutsu.html> (「調査報告書件名一覧」より)

【お問い合わせ先】

一般社団法人国立大学協会 企画部  
 〒101-0003 千代田区一ツ橋2丁目1番1号  
 ( 学術総合センター4F )  
 TEL 03-4212-3515  
 FAX 03-4212-3519

